

Profile

ピアノ

三原有紀 *Yuki Mihara*

大阪府出身。洗足学園音楽大学大学院を首席で卒業。その後渡伊、イタリア国立ノヴァーラ音楽院を賞賛付き満場一致の満点、さらに特別名誉賞を得て卒業。2018年 Bellano Paese degli artisti 国際ピアノコンクール第1位。2019年 Città di Villafranca 国際ピアノコンクール第1位、審査員特別賞受賞。2020年 Sergio Fiorentino 国際ピアノコンクール第2位。2021年 オレージョ国際ピアノコンクール第2位、Sergio Fiorentino 賞。2022年 チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノコンクール第2位。他国内外のコンクールにおいて優勝、イタリア各地にてソロ、室内楽の演奏会を行うと共に、多数の音楽祭に参加、コンチェルトソリストとしてオーケストラと共演し好評を得る。現在は東京を拠点にソロ、室内楽の分野で活躍。2023年にチェリスト・稲本有彩とのデュオ“Duo Claire”(デュオクレール)を結成。2023年12月アルバム「SERENADE」を発売。これまでに、ピアノを井上聡美、今野早苗、清水将仁、黒田亜樹、藤井一興、Luca Schieppati、Mario coppolaの各氏に、室内楽を Monica Cattarossi に師事。



An Invitation to French Music



Naoki Miyasato テノール 宮里直樹

東京藝術大学声楽科首席卒業。卒業時に大賀典雄賞、松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞受賞。同大学大学院音楽研究科修士課程声楽(オペラ)専攻修了。2014年度明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生としてウィーンへ渡欧、ウィーン国立音楽大学オペラ科にて2年間学ぶ。2015年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。声楽を多田羅迪夫、ジャコモ・アラガル、ラルフ・デーリング、アルフレード・ブルクシュッターの各氏に師事。これまでNHK交響楽団を始め、読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団など国内主要オーケストラと共演。その他上海交響楽団、チャイナフィルハーモニー管弦楽団、LVIVフィルハーモニックオーケストラと共演。《放蕩息子》アザエル、《ドン・ジョヴァンニ》ドン・オッターヴィオ、《ラ・ボエーム》ロドルフォ、《トスカ》カヴァラドッシ、《ランスへの旅》リーベンスコフ伯爵、《ファルスタッフ》フェントン、《愛の妙薬》ネモリーノ、《椿姫》アルフレード、《蝶々夫人》ピンカートン、《ランメルモールのルチア》エドゥガルド、《ラ・ロンディネ》ルッジェーロ、《仮面舞踏会》リッカルド、《マクベス》マクダフ、ロッシーニ作曲《オテッロ》オテッロ、2022年新国立劇場公演《ばらの騎士》テノール歌手役で新国立劇場デビュー。コンサートではいずれもソリストとしてバッハ「マニフィカト」、「口短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ハイドン「天

地創造」、ベートーヴェン「第九」、「荘厳ミサ曲」、メンデルスゾーン交響曲第二番「讃歌」、「聖パウロ」、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシーニ「スターバト・マターテル」、ドヴォルザーク「スターバトマターテル」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、マーラー交響曲第八番「千人の交響曲」、「大地の歌」、ベルリオーズ「レクイエム」、プッチーニ「グロリアミサ」等で活躍している。今後もオペラ、コンサートに多数出演が決まっている新進気鋭の若手テノール歌手である。FM-NHK「リサイタル・ノヴァ」、NHK-BS「クラシック倶楽部」等に出演。イタリア・ガルダ湖にて毎年開催されているムジカ・リーヴァ・フェスティバルに2016年、2018年に出演。NHKニューイヤー・オペラコンサートに出演。第23回リッカルド・ザンドナーイコンコルソ第2位。第48回日伊声楽コンコルソ第1位。五十嵐喜芳賞、歌曲賞受賞。第10回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)。同時に聴衆賞受賞。第62回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学一般の部全国大会第2位。同時に横浜市民賞受賞。その他受賞歴多数。2011年外務省主催の天皇誕生日祝賀会にて国歌独唱。二期会会員。

<http://naokimiyasato.com>